



平素より日立物流グループに格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループは、経営理念のもと、高度化・多様化・広範化しているグローバルサプライチェーンにおいて、お客様・株主・従業員などあらゆるステークホルダーから、最も選ばれるソリューションプロバイダをめざし、さまざまな『協創』を通じた課題の解決と『価値』の創出に取り組み、持続的な成長につなげています。

当社グループは、中期経営計画「価値協創2018-Value Creation2018-」の最終年度であった2018年度において、ビジネスコンセプト「LOGISTEED<sup>※1</sup>」を掲げ、機能としての物流強化を中核としながらも、事業・業界を超えた協創領域の拡大を図り、ロジスティクスの領域を超えた、新たなイノベーション創出に向けた施策を推進してきました。物流領域強化としては、フォーワーディングと3PLのより高度な連携によるサービス提供に向け、株式会社エーアイティーとの資本業務提携を締結したほか、SGホールディングスグループとの協創活動を促進し、クロスセル（ロジスティクスとデリバリー事業の補完）やアセットシェアリングの拡大などを図りました。また、「AI（人工知能）」「IoT（Internet of Things）」といったロジスティクス領域を超えた最先端技術へのアクセスによる、あらゆるパートナーとの協創の活性化に向けて、株式会社ウフルとの業務提携を締結しました。

2019年度よりスタートした新中期経営計画「LOGISTEED 2021」では、「IoT」「AI」「ロボティクス<sup>※2</sup>」「フィンテック<sup>※3</sup>」「シェアリングエコノミー<sup>※4</sup>」といった技術の進化・社会の変化に加えて、デジタル化の進展によりサプライチェーンの構造が大きく転換するなかで、

## 「LOGISTEED」のもと、物流領域を強化し、変化に応じて進化し続け、さらなる成長と社会課題の解決を実現していきます。

当社グループおよび協創パートナーも含めたデジタルイノベーションを推進し、オープンプラットフォームを構築することで、物流領域を基点/起点としたサプライチェーンの実現をめざしています。

新中期経営計画の初年度である2019年度の当社グループを取り巻く環境は、グローバル経済においては、緩やかな成長基調にあるものの、保護主義・貿易摩擦の影響や地政学的リスク、自然災害の影響等には引き続き留意する必要があります。また、日本経済、特に物流業界においては、労働力不足やEC<sup>※5</sup>市場拡大等の環境下、業界の垣根を超えた競争激化により、経営環境の厳しさが増えています。このような状況のなか、当社グループは多様なパートナーとの協創により、コア領域である物流機能を強化するとともに、さらなる領域拡大へとつながる協創戦略を実行していきます。また、スマートロジスティクスの新技術開発と現場への実装を加速するとともに、「SSCV（スマート安全運行管理システム）<sup>※6</sup>」や「ECプラットフォーム<sup>※7</sup>」の事業化と拡充を進めることなどで、物流領域を基点/起点としたサプライチェーンのデザインに向けた取り組みを推進していきます。それらの取り組みを遅滞なく確実に進めていくためには、確かなオペレーションが不可欠だと考えています。そのため、全社ボトムアップ施策を通じた「わたくしごと化」の推進活動（VC21）<sup>※8</sup>を本格化させ、生産性の向上と次世代につながる運営力の強化に取り組んでいきます。当社グループは、物流領域を強化しながらも、その周辺領域における協創をさらに推

進し、変化・進化を成し遂げ、社会課題やお客様のニーズに対応するイノベーションの提供と価値創出を実現していきます。

お客様や従業員をはじめ、あらゆるステークホルダーの皆様への期待に応え、選ばれ続ける企業となるためには、顕現化している地球規模での環境・社会課題に対して責任を果たし、期待・要請に応えていくという視点が重要であると考えています。当社グループは、経営の重点施策に「環境・社会・ガバナンスと企業倫理を意識した行動」を掲げ、企業の社会的責任を重視した取り組みを推進し、経営の透明性と効率性の向上に尽力するとともに、安全の追求と環境面への配慮を徹底した事業活動を展開しています。また、前中期経営計画期間中には、優先的に取り組むべきCSR活動分野として「CSR注力分野」を策定し、グループ内外への浸透に努めてきました。2019年度は、「CSR注力分野」への取り組みの実効性をさらに高めるとともに、「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成に事業との親和性への認識を深めつつ貢献していきます。

日立物流グループは、「LOGISTEED」のもと、変化・進化を遂げ、最も選ばれるソリューションプロバイダをめざしていきます。

皆様には、引き続き変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年7月 代表執行役社長

中谷 康夫

※1 LOGISTEED:詳細はP2をご参照ください。 ※2 ロボティクス:ロボット工学 ※3 フィンテック:「金融(Finance)」と「技術(Technology)」を組み合わせた造語。IT(情報技術)を駆使した金融サービス。 ※4 シェアリングエコノミー:モノ・サービス・場所などを、多数の人と共有・交換して利用する社会的な仕組み。 ※5 EC:Electronic Commerce(電子商取引) ※6 SSCV(Smart & Safety Connected Vehicle:スマート安全運行管理システム):詳細はP14をご参照ください。 ※7 ECプラットフォーム:詳細はP13、P36をご参照ください。 ※8 「わたくしごと化」の推進活動(VC21):Value Change & Creation 2021 Webサイトをご参照ください。  
[http://www.hitachi-transportssystem.com/jp/ir/library/presentations/pdf/midtermmanagementplan\\_190524jpR.pdf](http://www.hitachi-transportssystem.com/jp/ir/library/presentations/pdf/midtermmanagementplan_190524jpR.pdf)